セキュリティ民主化分科会　サブワーキンググループ

HIJ共同CSIRT要旨検討会
活動結果報告書

Health ISAC Japan
2026年6月

アジェンダ

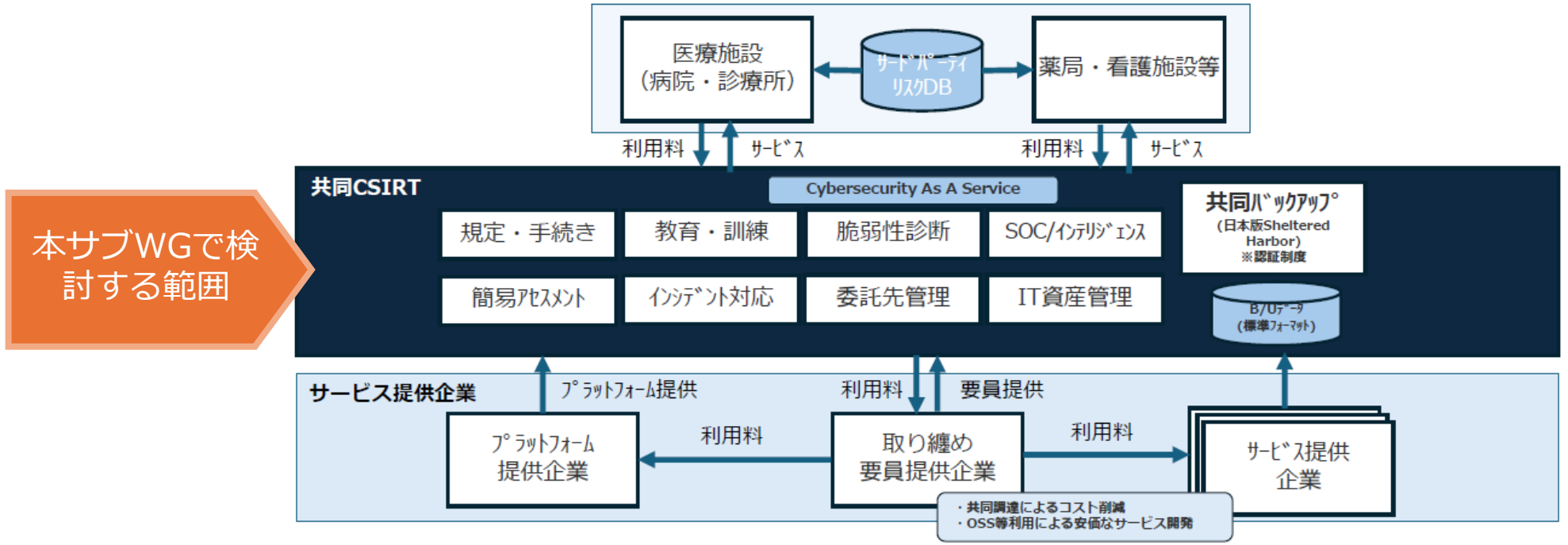
1. サブワーキンググループの概要
2. セキュリティ民主化構想
3. 共同CSIRT構想とは
4. サブWGでの検討における前提事項
5. 定式化したセキュリティ対策のながれ
6. 活動スケジュール
7. 検討結果
8. 残された課題

1．サブワーキンググループの概要

項目	概要
名称	HIJ共同CSIRT要旨検討会
目的	セキュリティ民主化分科会においてアビーム社が提唱する共同CSIRTの実現
活動の位置づけ	セキュリティ民主化分科会の下位活動（サブワーキンググループ※サブWGと表記）
検討概要	サブWGでは、共同CSIRTの要旨を検討しまとめる ・セキュリティ診断(アセスメント)ツールについて ・リスク分析・計画策定の支援について ・セキュリティ課題に応じた対策サービスについて
開催期間	2026年4月から6月末（3か月） ※2026年7月以降のサブWG活動は、別途、関係者間で協議の上決定する
参加対象者	セキュリティの共同CSIRTに関心のある会員

2．セキュリティ民主化構想

サイバーセキュリティの共同組織を立ち上げて規定や各種社内報告資料、教育コンテンツ、訓練、各種セキュリティソリューションを共通化・シェアし、他業界における知見も活かし専門人材を共有することによりコストを低減し、「３ない」状態（人がいない、予算がない、知識がない）を解消しセキュリティが高められる仕組みを構築するもの。



医療ISACセキュリティ民主化分科会企画書（HIJ、2025）より転載

3．共同CSIRT構想とは

本サブWGにおいて取り上げた共同CSIRT構想とは、セキュリティ民主化構想において立ち上げることとされた、「医療機関向けサイバーセキュリティの共同組織」の構想を指します。
具体的には、以下の機能を備えた組織を構築することを目指し、HIJ内で必要な体制を整えることを指します。

1　医療機関等がHIJを通して利用可能であること

2　HIJの会員や提携先の知見を利用した、幅広な支援が可能であること

3　規程類の策定や教育訓練の実施等、個々の医療機関が必要とする具体的な支援が可能であること

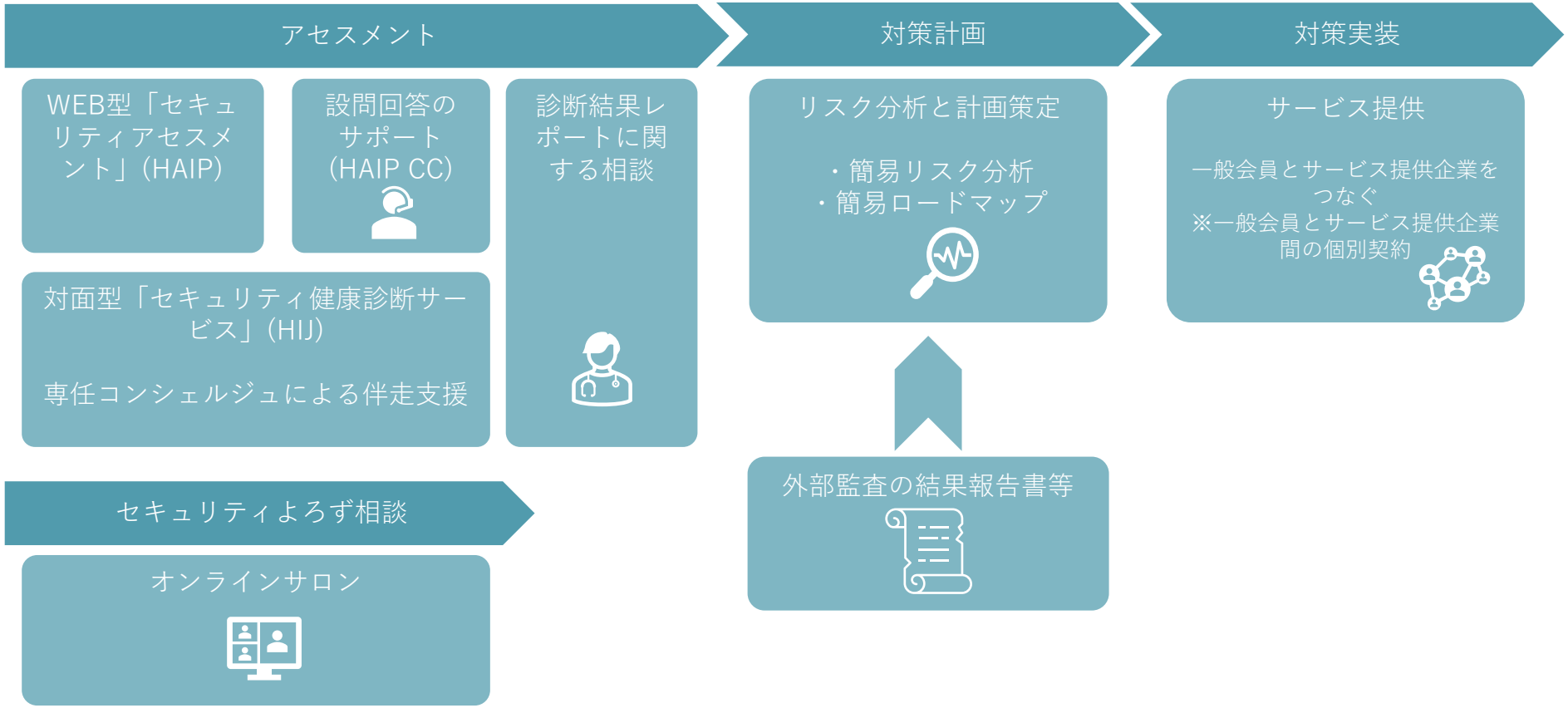
４．サブWGでの検討における前提事項

本サブWGでは、共同CSIRT構想の実現に向けて、以下の観点から議論を行った。

1. 医療機関が、サービス提供事業者の知見等を容易にシェアできること
2. サービス提供事業者の知見等を容易にシェアする際に、医療機関の予算・人的負担を抑えること
3. 具体的なセキュリティ対策の実行過程として、アセスメントに始まり、個別ソリューションの実装するまでの一連の流れを定式化し、個々の医療機関の事情に応じた支援を実施できること
4. セキュリティ対策の実行の前段階として、セキュリティに関する相談を受け付ける体制を確立すること

5．定式化したセキュリティ対策のながれ

具体的なセキュリティ対策の実行過程として、下図のとおり
①アセスメントに始まり、個別ソリューションの実装するまでの一連の流れ及び
②セキュリティに関する相談を受け付ける体制
を定式化した。



6．活動スケジュール

サブWG項目		開催日	3月	4月	5月	6月
サブWG開催準備		3月5～10日				
サブWG参加者募集		3月20日～6月15日		各回ごと参加者募集		
セキュリティ民主化分科会・サブWG						
合議	共同CSIRT概観検討	3月19日	民主化分科会			
	Lアセスメント・相談サービス検討	4月10日		サブWG1回目		
	Lリスク分析・計画策定検討	4月24日		サブWG2回目		
	L対策実装検討	5月15日			サブWG3回目	
	Lお困りごと相談	5月29日			サブWG4回目	
アウトプット取りまとめと報告会		6月中				取りまとめ ★ サブWG報告会

7．検討結果

支援内容	検討事項	検討結果
全体事項	サービス名称	セキュリティかかりつけ医サービス
	サービス開始時期	① 2026年7月 ② アセスメントサービスから段階的に実施
	サービス実施事業者の決定方法	① HIJ事務局から事業者に案件を周知し、実施の意思のある者を募る ② 事業者が複数ある場合は事業者間で合議 ③ 事業者間調整はHIJ事務局がおこなう
	サービスレベルの担保	① それぞれのプロフェッショナルの倫理に依拠する ② サービス提供内容をHIJ内で共有し、共同CSIRT内で可視化をおこなう

7．検討結果

支援内容	検討事項	検討結果
アセスメント	対象者	厚労省ガイドライン「医療機関等」に含まれるすべての者
	アセスメントツールの選定	① HAIP「セキュリティアセスメント」ツール ② HIJ・PXT「セキュリティ健康診断」サービス
	FAQ（設問に対する回答アシスト）の要否	① HAIPのメール問い合わせセンター ② コンシェルジュの対面アシスト
診断結果レポートに関する相談サービス	対象者	上記①②ツールの利用者に限定
	相談内容	結果レポートの範囲
	サービス費用	一定期間（数）無料で提供し、ニーズ（質・量）を把握したのちに検討する
	提供体制	HIJ法人会員及びHIJと業務提携を行う組織が提供する

7．検討結果

支援内容	検討事項	検討結果
対策計画 （リスク分析・計画策定）	支援対象者	① 原則、「Web型セキュリティアセスメント」または「対面型セキュリティ健康診断サービス」を利用し、かつ「かかりつけ医相談サービス」を受けた者 ② 監査報告書等①と同等の現状に係る情報を提供できる医療機関
	支援内容	① 上記サービスの結果レポート等を基に、対策計画策定を支援する ② 成果物は、共同CSIRTの統一フォーマットとする ③ 成果物は、医療機関から事前の了解を得た場合、医療機関を特定できない形で共同CSIRT内で共有する ④ 成果物は、第三者目線での網羅性、中立性を担保する
	提供体制	HIJに加盟している「法人会員」「個人会員が所属している企業」または「個人事業主」とし、HIJは紹介・仲介を行う
	サービス費用	有料、サービス提供者による個別見積
その他	HIJ監査基準準拠の認定	「共同CSIRTに基づきセキュリティ対策を行っていますマーク」など、HIJ監査基準準拠の認定を出せるかについて、今後の検討事項とする

7．検討結果

支援内容	検討事項	検討のゴール
対策実装	支援対象者	原則、HIJ共同CSIRTの対策立案サービスを受けた者とする 直接対策実装を求める者には ① 原則、アセスメントを奨励 ② アセスメントを受けない場合は個別対応
	サービス一覧	① 医療機関向けに、サービス一覧を作成する ② サービス一覧は、分科会メンバー（医療機関除く）からアンケート形式で提供可能なサービスを募る ③ 回答してくれた事業者に、スコープ（どこまでできるのか）を詳細に確認する
	提供体制	HIJに加盟している「法人会員」「個人会員が所属している企業」または「個人事業主」とする ※ HIJは紹介・仲介を行うのみ
	サービス費用	① 共同CSIRTサービス提供者による個別見積とする共同CSIRTサービス提供者による個別見積とする ② 費用を削減するよう努めることを会員間で申し合わせる

7．検討結果

支援内容	検討事項	検討のゴール
セキュリティよろず相談	支援対象者	HIJ会員に限らない
	提供方法内容、時間、体制	① 電話、メール及びweb会議で相談 ② 相談内容と回答は一般的な内容とし、個別の医療機関に即した相談が必要な場合はアセスメントサービスの利用を推奨する。 ③ メーリングリスト等を活用し、事業者間で誰が担当するかを打合せ、担当事業者を決定する。決定した担当事業者がメール返信等の一次対応から行う。
	提供体制	HIJに加盟している「法人会員」「個人会員が所属している企業」または「個人事業主」とする
	サービス費用	一定期間、初回無料とする方向で検討する

EOF